

あすなろ

小中一貫教育目標

「一生懸命 がんばる」

令和3年度重点目標

「やってみよう やりとげよう」

新しい年、2022年（令和4年）寅（とら）年を迎えるました。保護者の皆様、どんな新年を迎えられましたでしょうか。



丘小学校では、職員一同新たな気持ちで頑張っていきたいと思いま
す。今年もよろしくお願ひします。

今年度も残すところあと3か月となりましたが、3月の学年末には一人一人が成長した姿を実感できるよう、職員一同で子どもたちを励ま
ていきます。今後もご支援ご協力お願ひします。



1月6日、朝礼での校長先生の言葉を紹介します。

さあ、誰が書いた作文でしょか。分かった人はいますか？
そうですね。これは野球選手として日本・アメリカの大リーグで大活躍した日本人、イチローさんが書いた作文です。このイチローさんの作文を紹介したのには、いくつか理由があります。
一つ目は、みなさんにぜひ将来の夢を持つ欲しい、ということを言いたかったからです。どんな夢でも構いません。将来の夢を持つことは、それだけでとてもすばらしいことです。
二つ目に言いたかったのは、イチローさんのように、夢を実現するために日々努力してほしい、ということです。イチローさんの凄いところは、ただ『野球選手になりたい』と思うだけではなく、どんな野球選手になりたいか、将来の理想的な自分の姿を具体的にイメージしているところです。小学校六年生のイチロー君は言います。「僕は一億円稼ぐことができる野球選手になりたい。ドラフト一位で中日ドラゴンズか西武ライオンズに入団したい。お世話になつた人に招待券を配つて応援してもらいたい」と。そして、続けてその実現のために何をしなければならないかを考えています。小学校六年生のイチロー君曰く「そのためには、中学校・高校で活躍しなければならない。だから今友達と遊ぶ時間を削つても練習しなければならない」と。イチローさんは、すでに小学生の頃から夢を実現するためには努力が必要だ、ということに気付いています。

みなさんも承知の通り、一日は誰にとつても二十四時間しかありません。それをどう使うかは皆さん次第です。イチローさんの作文は“絶対に夢を叶える”という強い意志を持って毎日コツコツと努力するべく具体的に、将来の自分をイメージしてみましょう。そして夢の実現のために、今何をしなければならないか考えましょう。校長先生はじめ、先生方も全員、皆さん目標を達成できるように、そして少しでも将来の夢に近づけるように応援したいと思っています。みなさまも先生方の期待に応えることができるように日々努力してほしいと思います。

今年一年が始まりました。新しい年の始まりです。みなさん、ぜひイチローさんのように、なんとか一年が素晴らしい年になるように、将来の夢が叶うように、みんなで頑張りましょう。

「僕の夢。僕の夢は一流のプロ野球選手になることです。そのためには、中学・高校と全国大会に出て活躍しなければなりません。活躍できるようになるためには練習が必要です。ぼくは三歳の時から練習を始めています。三歳から七歳までは半年くらいやつていましたが、三年生の時から今までは、三百六十五日中三百六十日は激しい練習をやっています。だから一週間のうち友達と遊べる時間は五～六時間です。そんな激しい練習をやっているのだから、必ずプロ野球選手になれると思います。そして、その球団は中日ドラゴンズか西武ライオンズです。ドラフト一位で、契約金は一億円以上が目標です。

自信があるのは、投手か打撃です。去年の夏、僕たちは全国大会に行きました。そしてほとんどの投手を見てきましたが、自分が大会ナンバー1選手と確信でき、打撃では県大会四試合のうち、ホームランを三本打ちました。大会全体を通して打率は五割八分三厘でした。自分でも納得のいく成績でした。さらに僕たちは一年間負け知らずのまま野球ができました。だからこれからも、この調子で頑張ります。そして僕が一流の選手になつて試合に出られるようになつたら、お世話になつた人に招待券を配つて応援してもらつのも夢の一つです。とにかく一番大きな夢はプロ野球選手になることです。」

今日は新年の始まりにあつて、みなさんが小学校六年生の時に書いた作文を紹介したいと思ひます。誰が書いた作文が当ててください。

低学年の子どもたちには少し難しい内容かと思いましたが、「夢」を持つ大切さに気付いてほしくて話をさせていただきました。各ご家庭でも話題にしていただけするとありがとうございます。